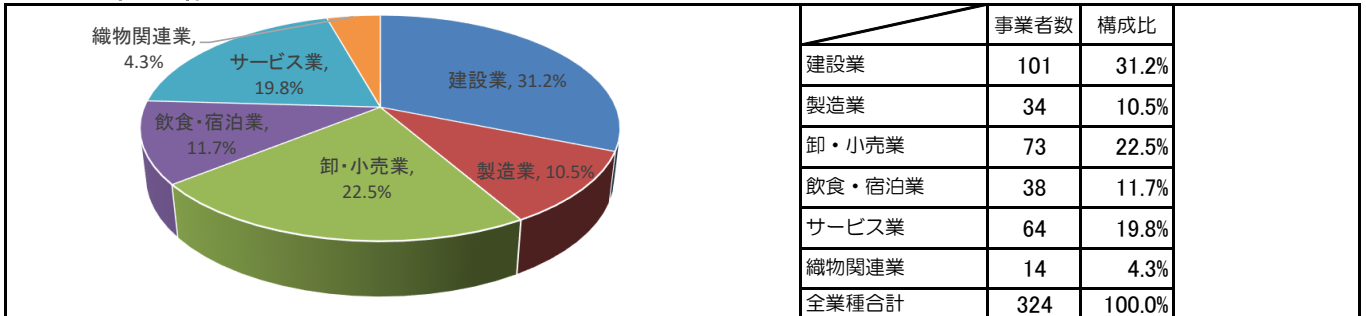


十日町市地域 企業景況調査 第3四半期報告書 (R5.10.1~R5.12.31) 会議所地区

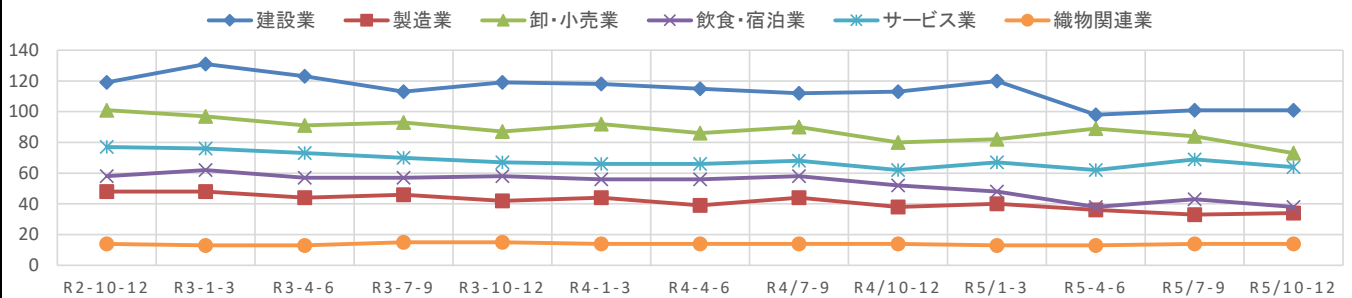
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

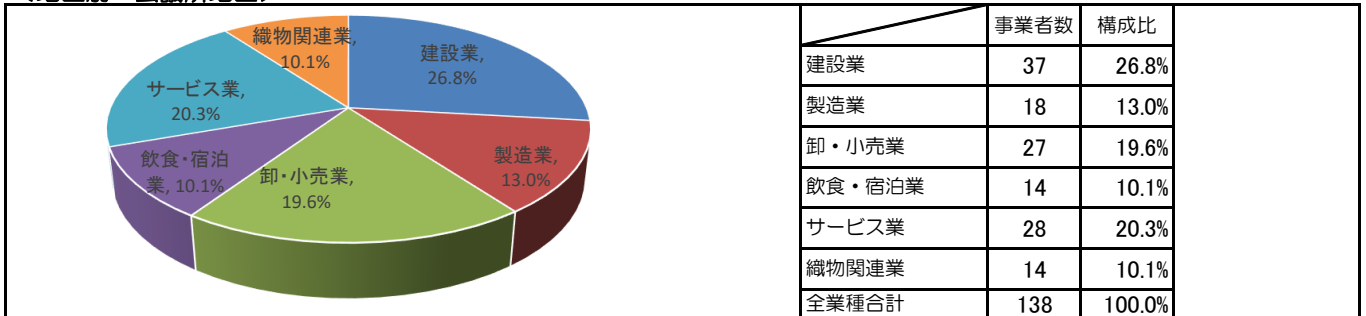


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

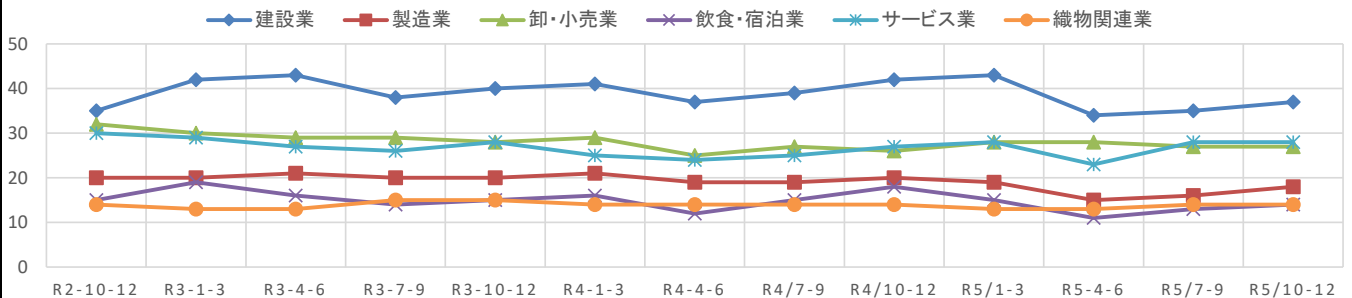


<コメント> 今回の調査は、十日町市内324事業所から回答を得られ、前回調査よりも20事業者減少している。建設業、製造業以外、減少となった。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



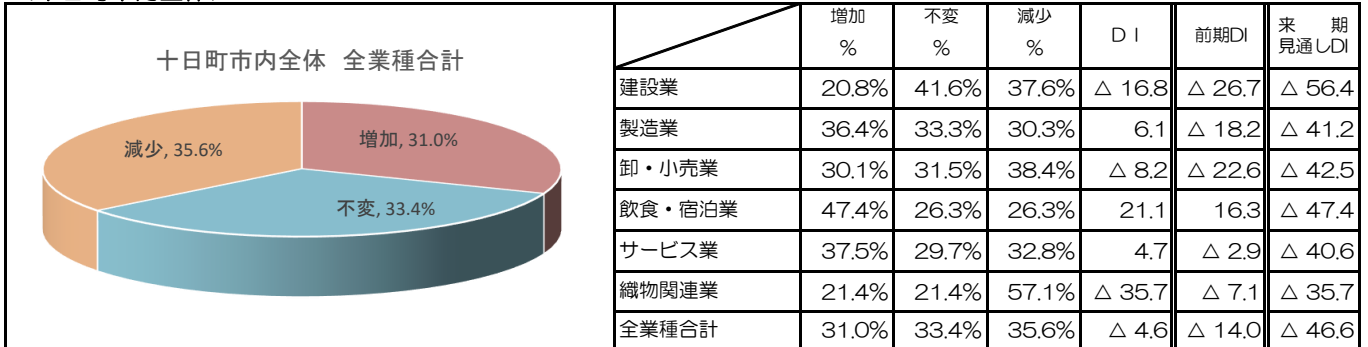
<コメント> 会議所地区の今回の調査回答状況は、依頼先183事業所のうち138事業所からの回答があり、回収率は75.4%と前回に比べ2.7%増加した(前回:回答事業所133事業所、回収率72.7%)

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

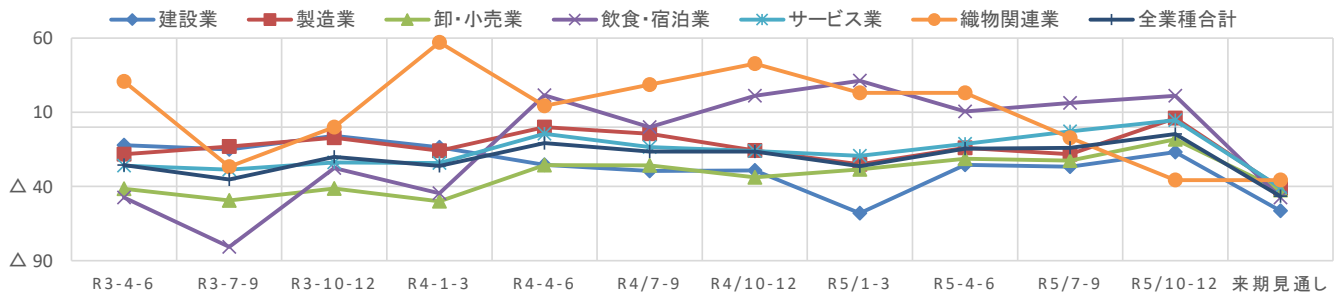
1. 売上について

- ・10月～12月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

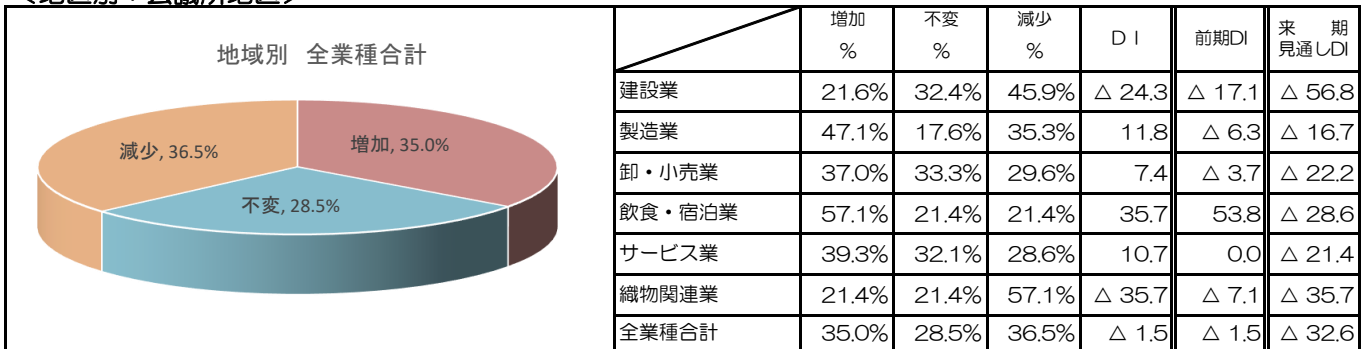


業種別売上の推移（市内全体）

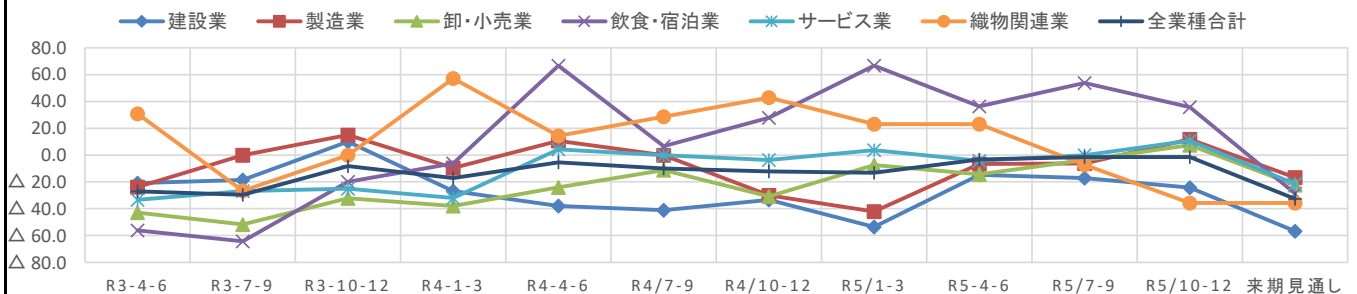


<コメント>十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△4.6ポイントで、前回調査時よりも9.4ポイント上昇となっている。全業種においてDI値が上昇した。来期見通しでは全業種においてDI値が減少する見通しとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移（地区別）

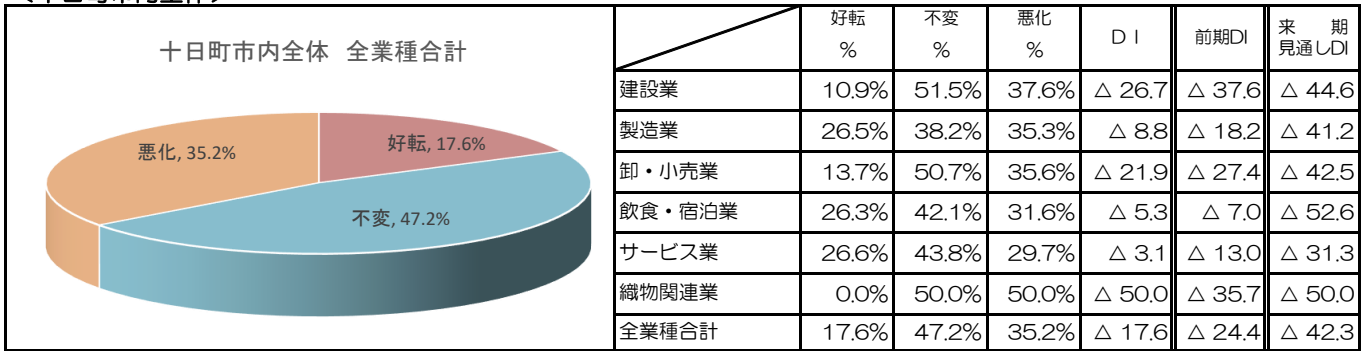


<コメント>会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値が△1.5ポイントで、前回調査時と同水準となった。業種別に見ると、建設業と飲食・宿泊業、織物関連業が減少したが、その他の業種は増加している。来期見通しでは、織物関連業は横ばい、その他の業種は減少の見通し、全業種DI値においても減少の見通しである。

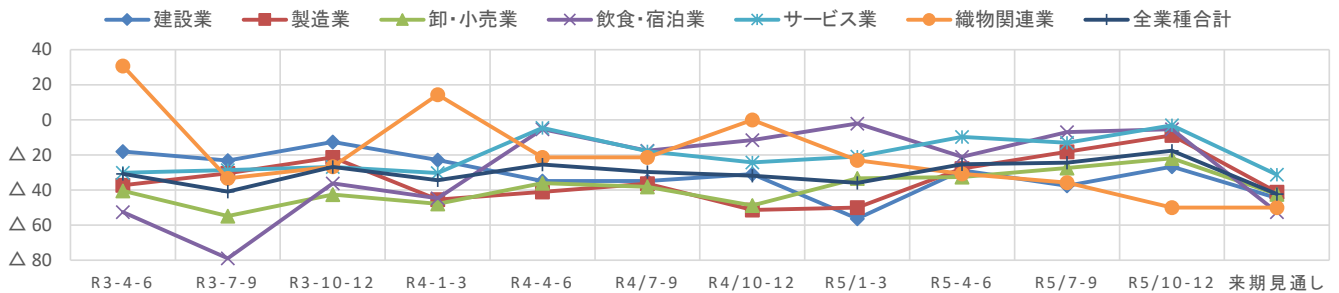
2. 採算について

- ・10月～12月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

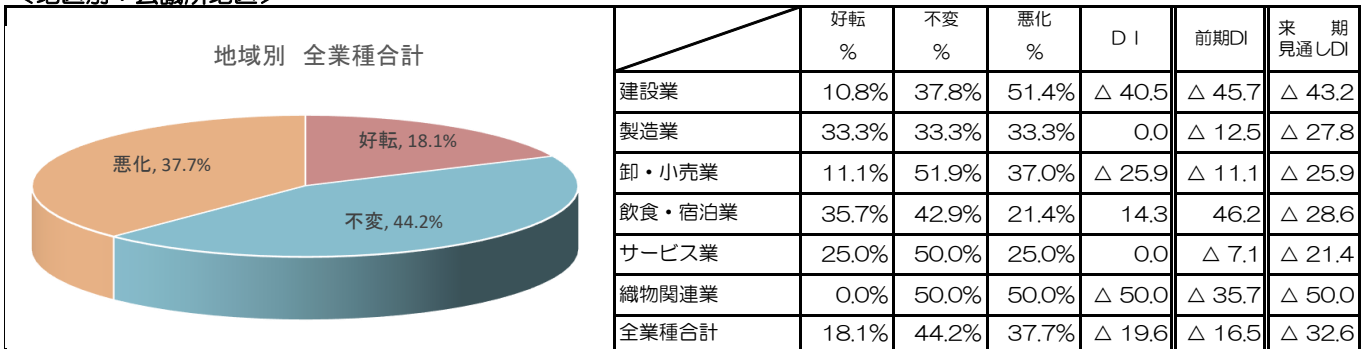


業種別採算の推移(市内全体)

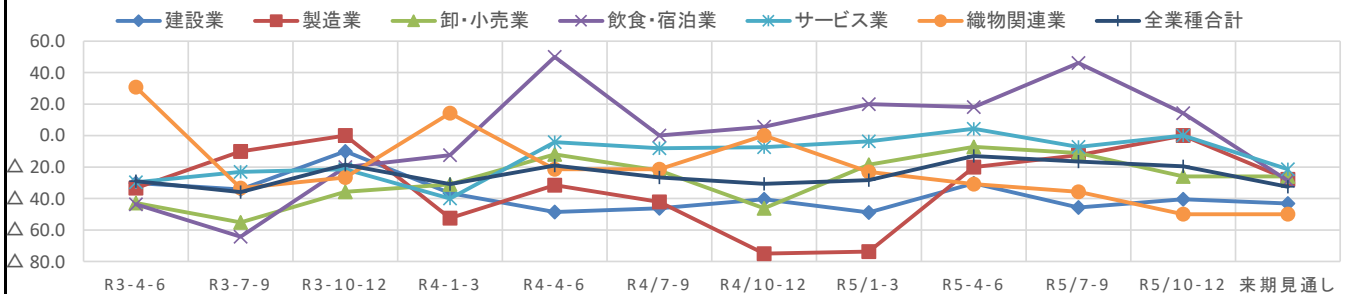


<コメント>十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△17.6ポイントで、前回調査より6.8ポイント好転している。全業種で好転となり、全体の数値を押し上げた。来期見通しでは、全業種において採算が悪化する見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



業種別採算の推移(地区別)



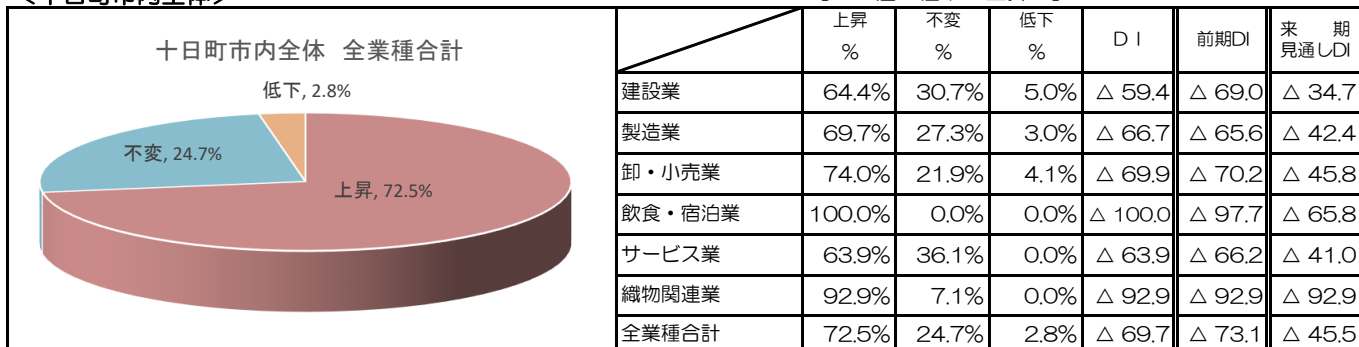
<コメント>会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値が△19.6ポイントで、前回調査時よりも3.1ポイント悪化している。業種別では建設業と製造業、サービス業が好転しているが、その他の業種は悪化した。来期見通しでは、織物関連業と卸・小売業は横ばい、その他の業種は悪化予測となっており、全業種においても悪化の見通しとなっている。

3. 仕入単価について

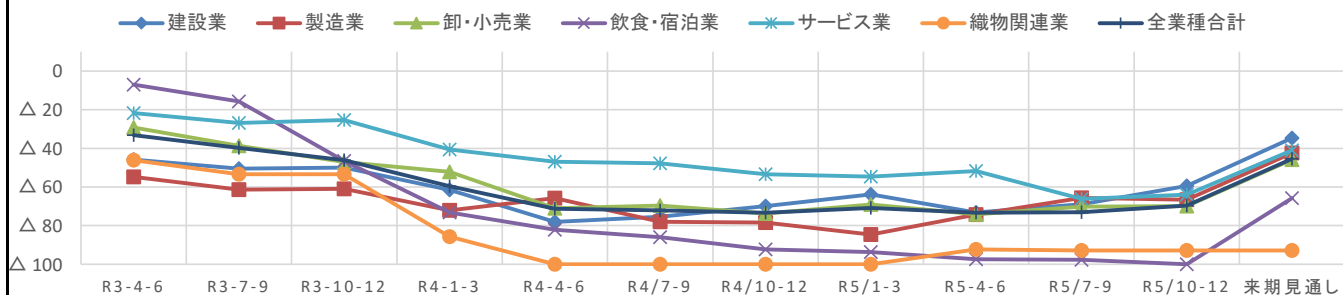
- ・10月～12月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

【 DI値＝低下－上昇 】



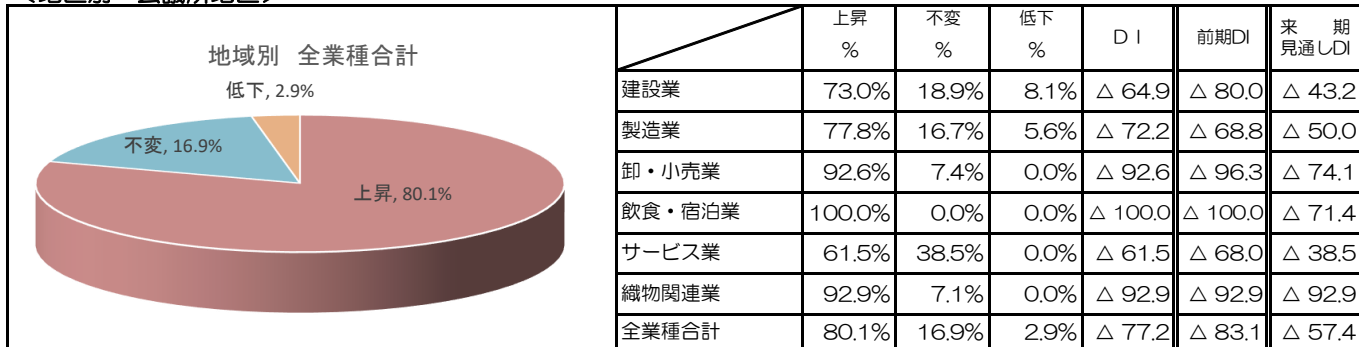
業種別仕入単価の推移(市内全体)



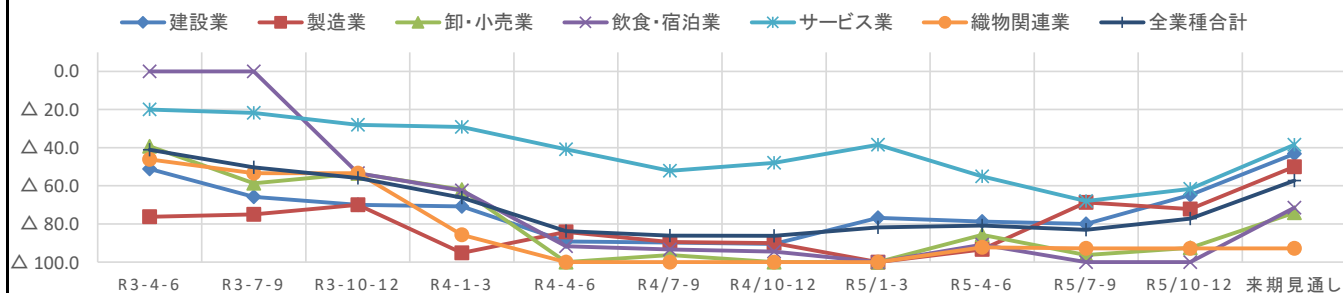
<コメント>十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△69.7ポイントで、前回調査時よりも3.4ポイントの仕入単価低下が見受けられる。建設業の仕入単価低下が大きかったことが全体の数値を押し上げた。来期見通しは、全業種で今期よりも仕入単価が低下する見通しであるが、原料、燃料等のコスト面について、引き続き注視する必要がある。

<地区別：会議所地区>

【 DI値＝低下－上昇 】



業種別仕入単価の推移(地区別)

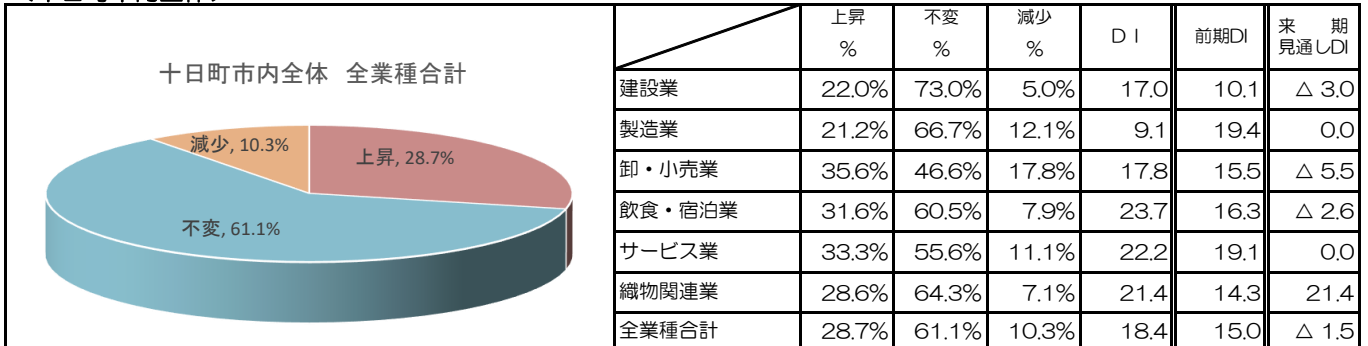


<コメント>会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が△77.2ポイントで、前回調査時よりも5.9ポイント仕入単価低下となった。業種別ではDI値が上昇となったのは製造業のみだが、飲食・宿泊業は前期に引き続き全てが上昇回答となっている。来期見通しでは織物関連業は横ばいの予測だが、その他の業種は仕入単価低下の予測となり、全業種DI値でも仕入単価低下の見通しとなっている。

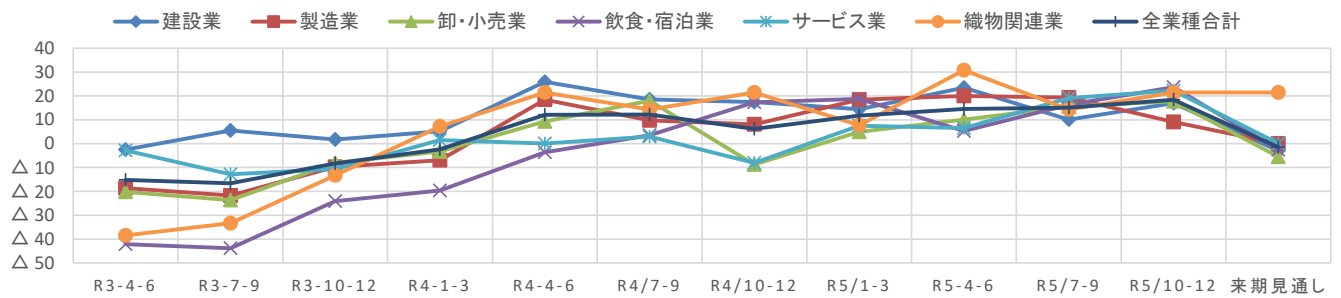
4. 販売（客）単価について

- ・10月～12月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

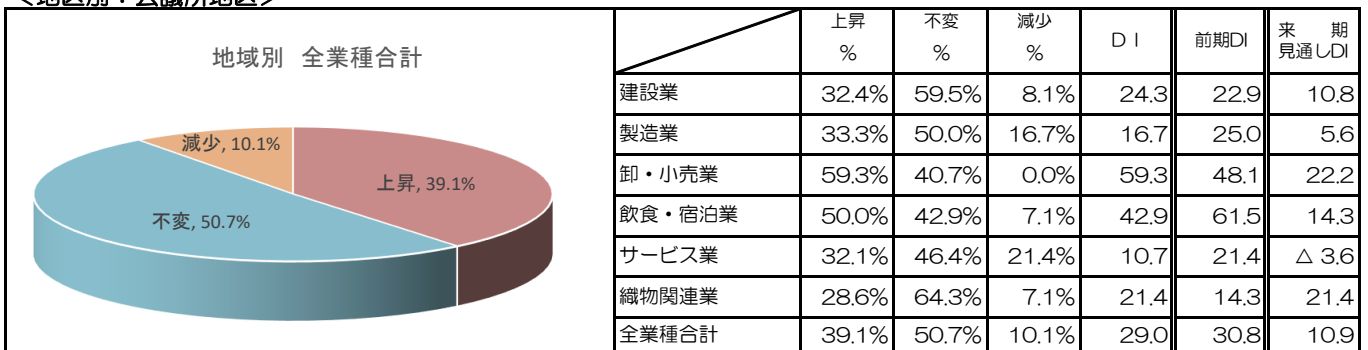


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

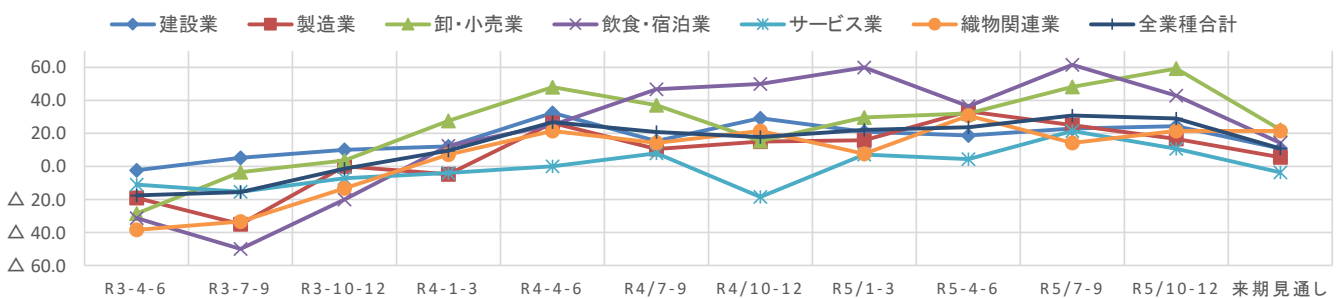


<コメント>十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で18.4ポイント、前回調査時より3.4ポイント上昇している。製造業以外の業種で上昇という形となった。来期に関しては、全業種で大幅な低下予測となっている。

<地区別：会議所地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

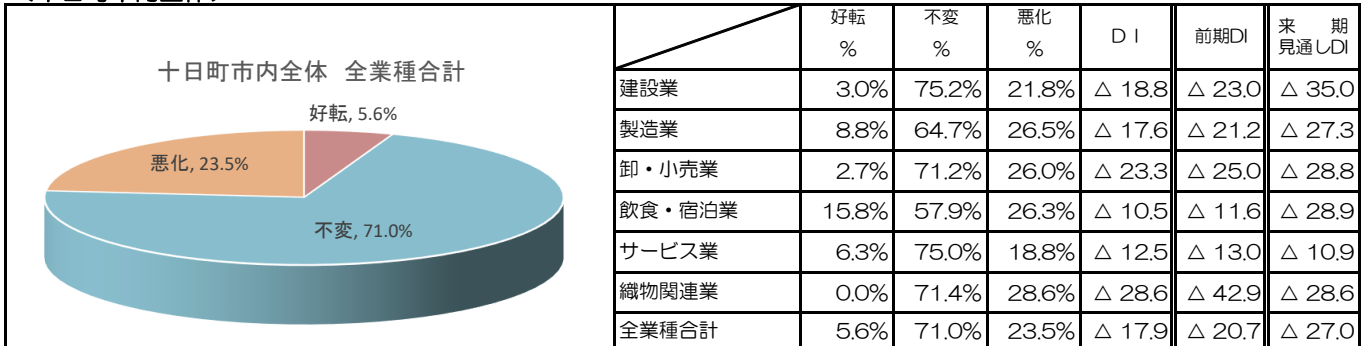


<コメント>会議所地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値が29.0ポイントで、前回調査時よりも1.8ポイント低下している。業種別に見ると、建設業と卸・小売業、織物関連業は上昇したが、その他の業種は低下している。来期見通しでは織物関連業が横ばいの予測となったが、その他の業種は低下の見通しとなっており、全業種DI値においても低下する見通しである。

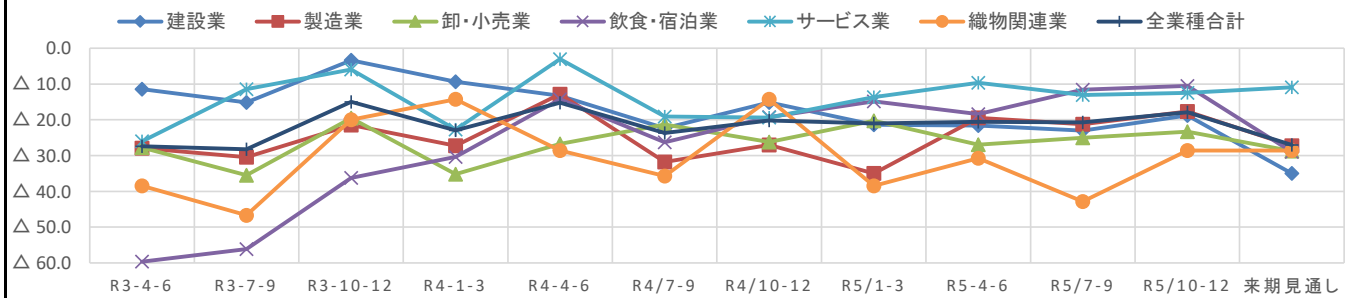
5. 資金繰りについて

・10月～12月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

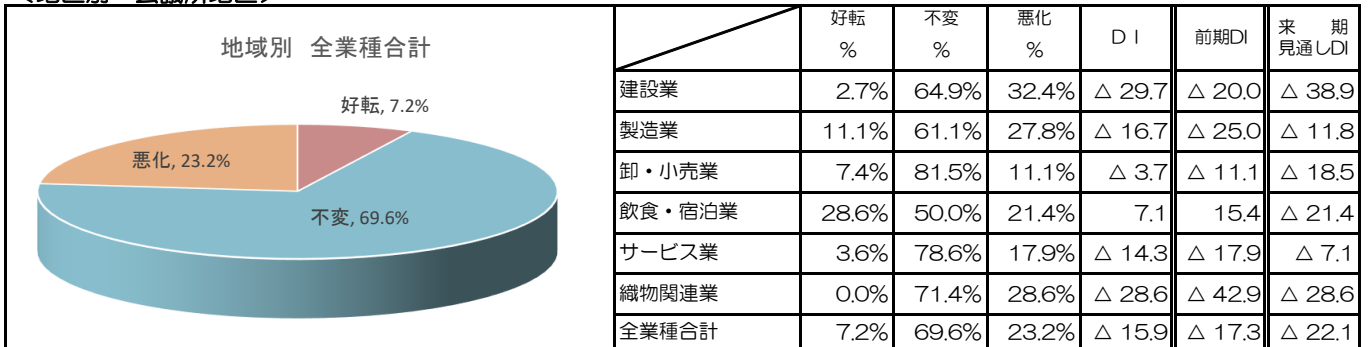


業種別資金繰りの推移(市内全体)

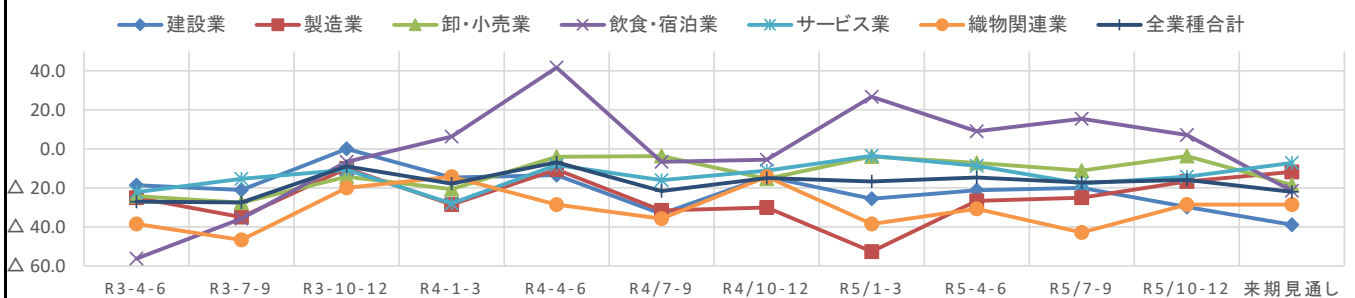


<コメント>十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△17.9ポイントで、前回調査時より2.8ポイント好転している。全業種においてDI値が好転となった。来期見通しとしては、サービス業以外の業種で悪化予測となり、全業種DI値についても悪化する見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

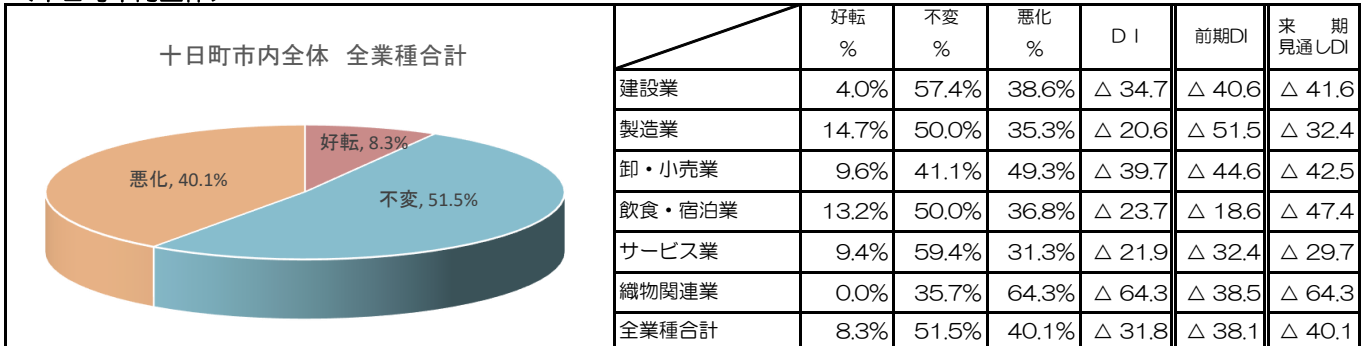


<コメント>会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△15.9ポイントで、前回調査時よりも1.4ポイント好転している。業種別に見ると、建設業、飲食・宿泊業で悪化となり、その他の業種は好転した。来期見通しでは製造業とサービス業が好転予測となり、織物関連業は横ばいの予測、その他の業種は悪化の見通しとなっており、全業種DI値においては悪化の見通しである。

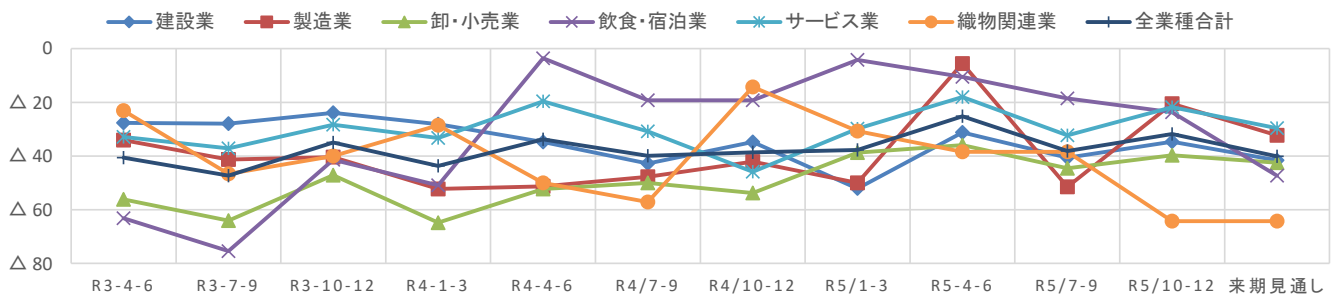
6. 景況判断について

- ・10月～12月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

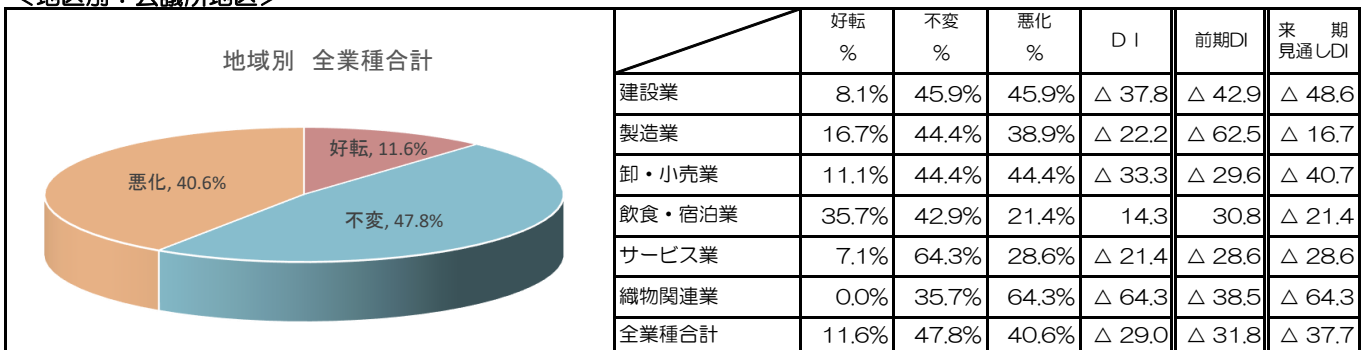


業種別景況判断の推移(市内全体)

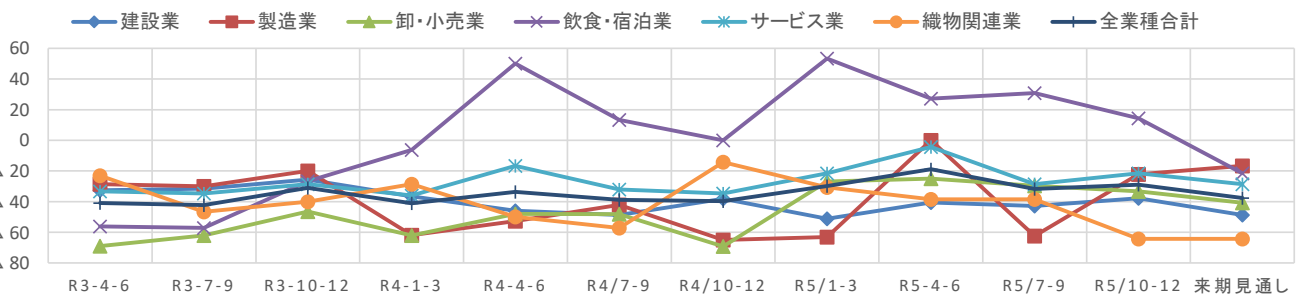


<コメント>十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△31.8ポイントで、前回調査時よりも6.3ポイント好転している。飲食・宿泊業以外の業種で好転という見方となっている。来期見通しは、全業種で悪化予測となり、全業種DI値についても悪化する見通しである。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

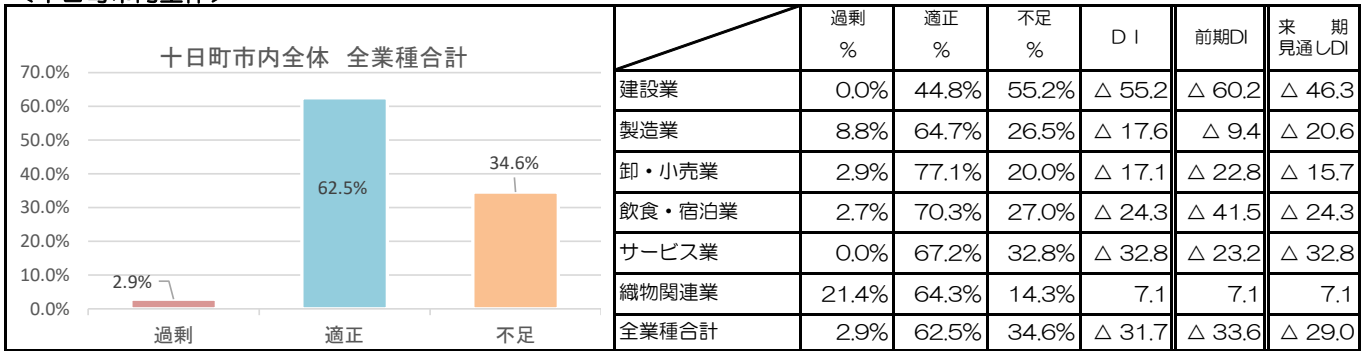


<コメント>会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△29.0ポイントで、前回調査時よりも2.8ポイント好転している。業種別に見ると、卸・小売業、飲食・宿泊業、織物関連業が悪化し、その他の業種は好転となった。特に製造業は40.3ポイント好転した。来期見通しでは織物関連業が横ばい、製造業のみ好転予測ではあるがその他の業種は悪化の見通しとなっており、全業種DI値においても悪化の見通しである。

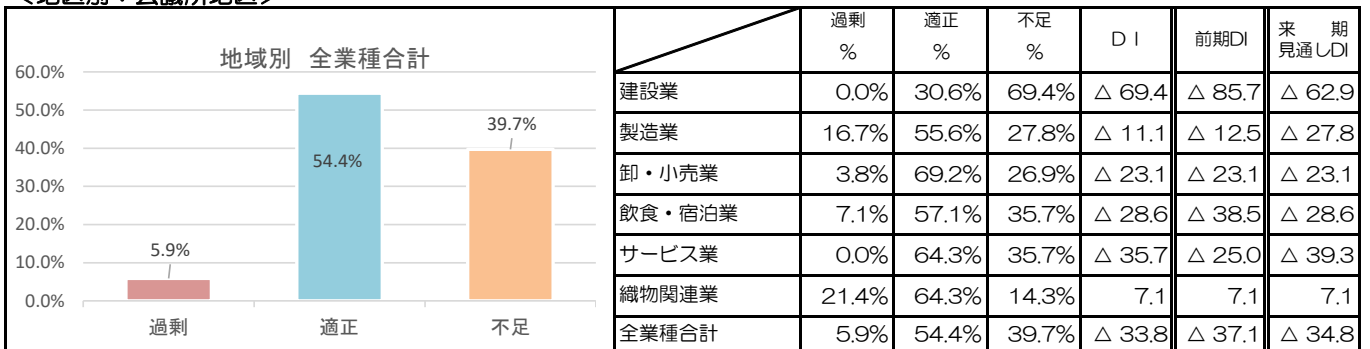
7. 従業員数について

・10月～12月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



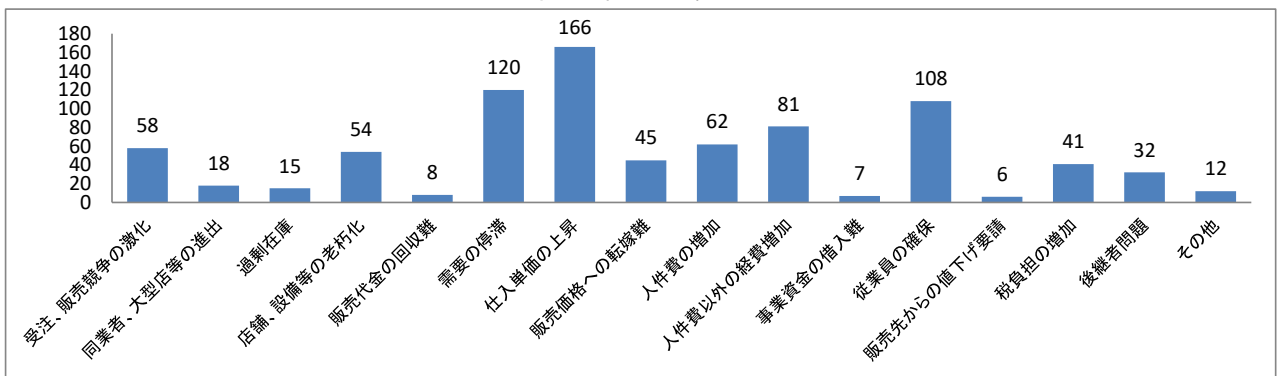
<地区別：会議所地区>



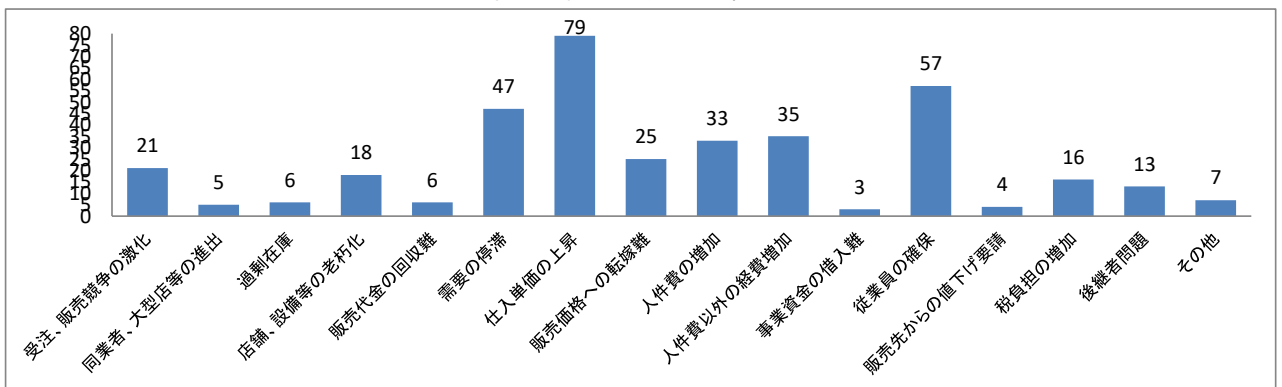
<コメント>今期の従業員数(雇用動向)は、前回調査時より過剰回答が0.2%増加、適正回答が1.5%増加、不足回答が1.7%減少している。会議所地区の状況は、全業種合計では54.4%が適正と回答しており、建設業では16.3ポイント改善した。全業種DI値でも緩やかに改善している。来期見通しでは全業種DI値はわずかに悪化の見通しではあるが、建設業においては更なる改善が予測される。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：10月～12月

十日町市内全体 全業種合計



十日町商工会議所地域 全業種合計



<コメント>今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の確保」となり、上位2項目に変化はなかったが、新たに「従業員の確保」が上位項目となり、人手不足を問題とする事業者が増えていることが示された。会議所地区の経営上の問題は、1位「仕入単価の上昇」、2位「従業員の確保」、3位「需要の停滞」となった。

9. 地区の景況概要

・10月～12月時点での全体概況は

【建設業】

今期の建設業の状況は、売上と資金繰りが悪化し、その他は好転した。来期見通しにおいては、仕入単価は低下の見通しとなったがその他は悪化の見通し。従業員数においては改善の兆しが見られるものの、経営上の問題点として、「従業員の確保」と「仕入単価の上昇」「人件費の増加」の順に多く回答されている。

【製造業】

今期の製造業の状況は、仕入単価と販売(客)単価が悪化し、その他は好転となった。来期見通しにおいては、売上、採算、販売(客)単価は悪化予測となり、その他は好転の予測となっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」「販売価格への転嫁難」が多く回答されている。

【卸・小売業】

今期の卸・小売業の状況は、採算と景況判断が悪化し、その他の項目は好転した。来期見通しにおいては採算は横ばい、仕入単価が好転予測だが、その他は悪化の予測となっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「従業員の確保」「需要の停滞」の順に多く回答されている。

【飲食・宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、仕入単価は横ばいとなったが、その他の項目は悪化となった。来期見通しにおいては仕入単価は低下予測だが、その他の項目はさらに悪化の見通しとなっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」が多く回答されている。

【サービス業】

今期のサービス業の状況は、販売(客)単価が悪化した、その他の項目は好転した。来期見通しにおいては仕入単価と資金繰りが好転予測、その他は悪化の予測となっている。経営上の問題点は、「販売価格への転嫁難」「仕入単価の上昇」「事業資金の借入難」の順に多く回答されている。

【織物関連業】

今期の織物関連業の状況は、仕入単価が横ばい、販売(客)単価と資金繰りが好転し、その他の項目は悪化した。来期においては、全ての項目で横ばいの見通しである。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」「人件費以外の経費増加」の順に多く回答されている。